令和6年度　島根県立浜田ろう学校　学校評価

A：よくあてはまる（達成している）　B：ほぼあてはまる（ほぼ達成している）　C：あまりあてはまらない（あまり達成していない）　D：あてはまらない（全く達成していない）

	項　目	教職員				保護者				自己評価	学校関係者評価
		A よくあてはまる	B ほぼあてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない	A よくあてはまる	B ほぼあてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない		
1	本校のグランドデザインを知っていますか。	7	17	0	0	1	4	1	1	・昇降口、職員室にグランドデザインを掲示した。また、「自ら考え、自ら判断して、自ら行動する」については始業式・終業式で話題にした。生徒会活動等で意識化されている。 ・目指す姿については、学部で見直しを行った。 ・グランドデザインの内容を意識下する取組と評価を継続することで、認知度をあげていきたい。	A
2	「自ら考え　自ら判断し　自ら行動する」幼児生徒を育てていると思いますか。	6	18	0	0	2	5	0	0	・授業研究を通して待つこと（間をとる）の重要性を学んだ。（幼小部） ・発信したことを受け止めてもらえる場、安心して活動できる場、選択して決定できる場を今後も作っていけるとよい。（幼小部） ・体験的な学習を通して、自らアイデアを提案し、主体的に取り組む姿が見られるようになった。（中高部）	A
3	本校は、聴覚や視覚に障がいのある子どもたちへ障がいの状況や発達段階に応じた的確な指導や支援ができていると思いますか。	7	17	0	0	2	5	0	0	・子どもの様子、成長、変化を意識し、学部内で共有しながら指導・支援ができた。（幼小部） ・いろいろな研修会を活用して教員が学んでいく必要がある。（幼小部） ・生徒について学部会で定期的に共通理解し、指導についての検討を行うことができた。（中高部）	B
4	本校は、言葉の力、学力を伸ばす授業づくりを行っていると思いますか。	7	17	0	0	2	5	0	0	・共感するやりとりを楽しみ、子どもが理解し表現しようとする機会を大切に取り組んだ。（幼小部） ・体験を言語化する活動や繰り返しの学習を通して、言語力、学力向上に取り組んだ。（中高部）	B
5	本校は、地域と連携した活動や学校行事等を通して、地域とつながる学校づくりを行っていると思いますか。	8	16	0	0	2	5	0	0	・浜ろうフェスティバルでは地域の方の協力を得て、各ブースを設け多くの外部の方に来校していただいた。また、オープニング、エンディング、生徒会企画ブース「占いの館」を運営し、外部の多くの方に本校生徒と触れ合っていただいた。また、学校公開では企業の方にも来校していただき、本校生徒に対する理解啓発につながったのではないかと考える。	B
6	本校の学校給食は「おいしく楽しく元気になる学校給食」であると思いますか。	20	4	0	0	2	5	0	0	・子どもたちが育てた野菜を給食に取り入れ紹介したり、学校行事と結び付けた献立を導入した。また、給食当番の仕事に食材カードを振り分ける係を設けて、食べ物の栄養についても意識できるようにした。 ・年度途中から、インスタグラムで発信した。来年度は計画的に情報発信していきたい。	A
7	本校の部活動は子どもの社会性を育んでいると思いますか。	13	11	0	0	2	5	0	0	・大会参加を通して協調性やチームワークを身につけたり、日々の練習において、目標達成に向け努力する中で、責任感や自律性を養ったりすることができた。	A
8	学校事務は、教育活動を支える学校事務となっていると思いますか。	13	11	0	0	2	5	0	0	・初動対応や突発事案などについて臨機応変に対応出来ており、教職員それぞれが業務に専念できる環境を整えることができた。 ・引継書や内部統制リスク評価シートを活かし、より良い浜ろう事務室を継続する。	A
9	本校は、専門性を生かして地域の難聴児、弱視児等の支援ができていると思いますか。	16	8	0	0	2	5	0	0	・センター的機能の役割として、関係者のニーズを常時探りながら相談への対応および情報提供を実施した。補聴器店や市町教育委員会、教育事務所等、他機関と連携をとりながら相談対応を実施したことも対象児童生徒にとって有意義であった。	A
10	学校からの便り（学校便り、保健便り、給食便り等）は、役立っていると思いますか。	6	17	1	0	2	5	0	0	・今年度より島根県職員ポータルに学校だよりを記載し、多くの人の目に触れる機会を作った。 ・紙媒体での発送については、発送先を精選していく（例：国府地区は紙媒体、それ以外についてはポータルサイトや学校HP等）。 ・発送先のデータの統一については、各分掌と相談しながら検討していけると良い。	B
11	保護者同士、保護者と教員の関わりを持つことができていると思いますか。	3	19	2	0	2	5	0	0	・親子活動やフェスティバル等の準備・運営を通して、関わりを持つように努めた。全員が集まって活動することが難しかったので、各家庭でできる準備を手伝ってもらった。また、集まれる保護者で活動する機会もあった。（総務関係） ・参観日等の保護者が来校するときに、保護者同士の座談会の機会を設け交流を深めることができた。（総務関係） ・保護者が関係するものについて、早目に発送できるように各分掌等に声をかけたり、保護者に確実に伝わるように確認したりしていく。（総務関係） ・ぽかぽかの日、交流活動、保護者研修会等の機械の設定や活用ができている。（幼小部）	B
12	幼稚部は、季節を感じ、気づきや驚きのある体験活動を大切にし、豊かな心とことばの力、コミュニケーションの基礎を育める教育を行っていますか。	17	7	0	0	2	5	0	0	・季節を感じる行事を取り入れ、廊下の掲示などを工夫し、楽しみながらやりとりをすることで、いろいろなことに気づき、豊かな心やことばの力を高めることができた。 ・日々のやりとりの中で保護者の方にも子どもの成長を感じてもらえている。	A
13	中学部は、自分の課題を意識しながら学習に取り組む姿勢を育て、学力の定着を図る教育を行っていましたか。	11	13	0	0	2	5	0	0	体験的な学習の中で自分のことばで表現することを学び、コミュニケーション力が高まった。 繰り返しの学習を取り入れることで学力の定着が見られた。	B
14	高等部は、卒業後の自己のあり方について主体的に考え、課題に取り組む力を育て、問題解決能力の向上を目指す教育を行っていましたか。	10	14	0	0	2	5	0	0	自分たちにできる課題に取り組み考えたことを発信したり、みらい甲子園に応募するなど主体的に活動する姿が見られた。 社会問題に取り組むことで、卒業後の自己のあり方について考えることができた。	B
◆評価項目について、ご意見やご要望、それに対する改善策等についてご記入ください。　※書き始めに評価項目の番号 10【教職員】 ・学校だよりはインスタやブログで代用できるのではないかと思う。発送も多く、紙やインクもかなり消費しているように感じる。そもそも学校だよりの本来のねらいは何か。 ・分掌によって発送作業のために作成しているラベル、データを統一して共通に印刷・活用できるようにならないだろうか。 11【保護者】 ・大きい行事だけでなく保護者が参加するような講演会など早めに日程がわかると助かります。									・紙媒体での発送については、発送先を精選していく（例：国府地区は紙媒体、それ以外についてはポータルサイトや学校HP等）。 ・発送先のデータの統一については、各分掌と相談しながら検討していけると良い。 ・行事等を実施する際の保護者宛文書は概ね1か月前を目安に配布を行っているが、急遽決定したものについての案内が遅くなってしまったことがあったので今後は気をつけていきたい。	